

平成18年度
農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査
国産水産物の消費等に関する意識・意向調査結果

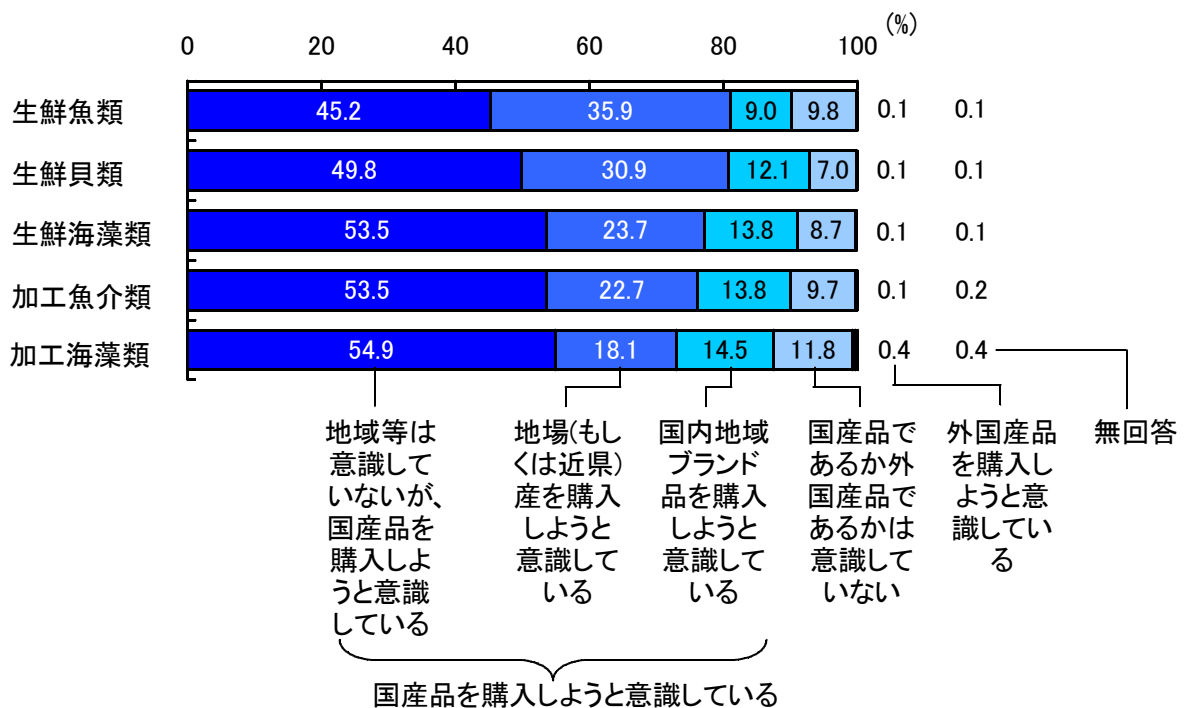
この調査は、平成18年7月下旬から8月中旬にかけて、農林水産情報交流ネットワーク事業の消費情報提供協力者 1,500名に対して実施し、1,394名から回答を得た結果である。

【調査結果の概要】

1 生鮮及び加工水産物の購入に関する意識

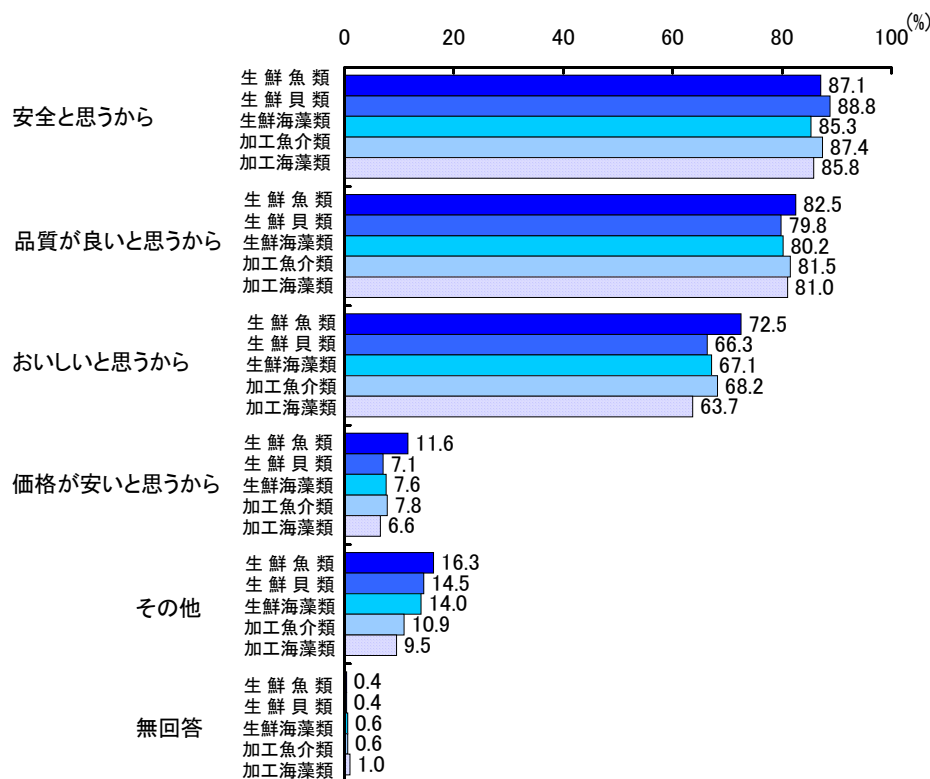
- スーパーや小売店などで生鮮及び加工水産物を購入する際、「国産品」と「外国産品」を、どの程度意識しているかについては、全ての項目において「国産品を購入しようと考えている」者が約9割

図1-1 生鮮及び加工水産物の購入時の意識



- 「国産品を購入しようとしている」と意識している者のうち、その理由として「安全と思うから」「品質が良いと思うから」を選択した者が全ての項目で8割以上

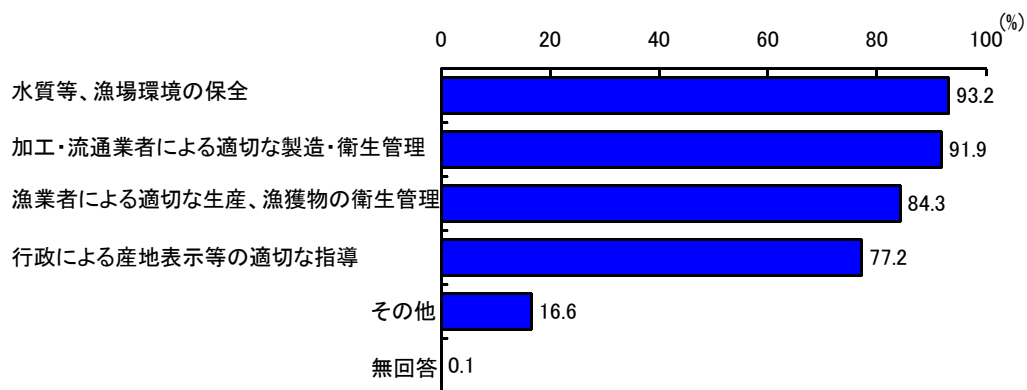
図1-2 生鮮及び加工水産物の購入時に意識している理由（複数回答）



2 水産物の安全性の維持に必要な取組への意識・意向

- 今後も水産物の安全性を維持していくために、どのような取組が必要と考えるかについては、「水質等、漁場環境の保全」及び「加工・流通業者による適切な製造・衛生管理」を選択した者が約9割

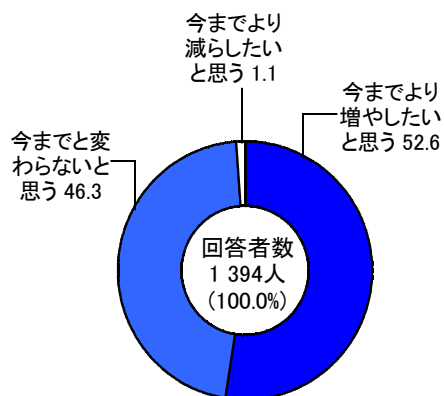
図2 水産物の安全性の維持に必要な取組への意識・意向（複数回答）



3 今後の食生活における水産物全般の消費に関する意識・意向

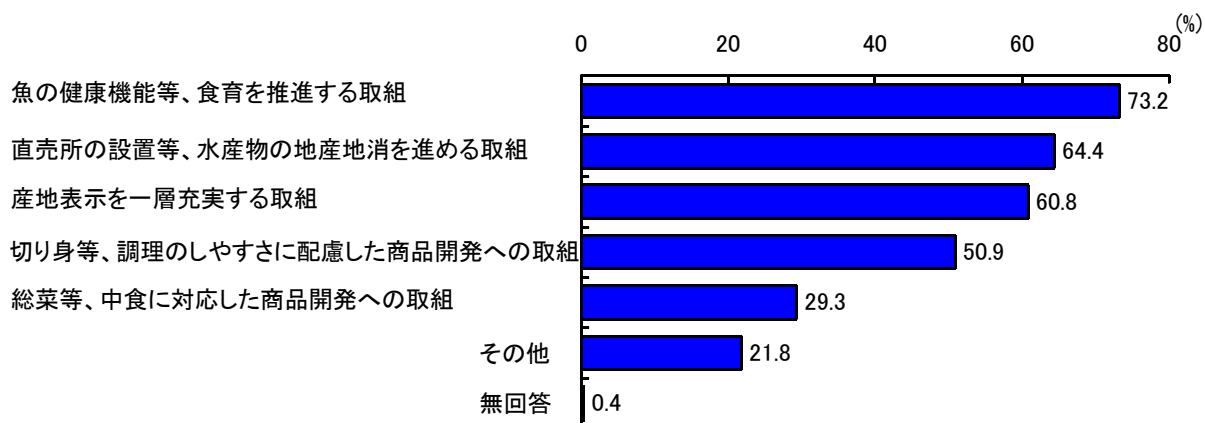
- 今後の食生活で、水産物の消費量をどのように考えるかについては、「今までより増やしたいと思う」を選択した者が約5割 —

図3 今後の水産物の消費に関する意識・意向



- 今後の食生活で、水産物の消費量を「今までより増やしたいと思う」とするためには、どのような取組を期待するかについては、「魚の健康機能等、食育を推進する取組」を選択した者が約7割 —

図4 水産物の消費増加に期待する取組への意識・意向（複数回答）



【 統 計 表 】

1 (1) 生鮮及び加工水産物の購入時の意識

単位：％

区 分	回答者数	計	地場(もしくは近県)産を購入しようとして意識している	国内地域ブランド品を購入しようとして意識している	地域等は意識していないが、国産品を購入しようとして意識している	外国産品を購入しようとして意識している	国産品であるか外国産品であるかは意識していない	無回答	区分
生 鮮 魚 類 A	1 394	100.0	35.9	9.0	45.2	0.1	9.8	0.1	A
生 鮮 貝 類 B	1 394	100.0	30.9	12.1	49.8	0.1	7.0	0.1	B
生 鮮 海 藻 類 C	1 394	100.0	23.7	13.8	53.5	0.1	8.7	0.1	C
加 工 魚 介 類 D	1 394	100.0	22.7	13.8	53.5	0.1	9.7	0.2	D
加 工 海 藻 類 E	1 394	100.0	18.1	14.5	54.9	0.4	11.8	0.4	E

(2) 生鮮及び加工水産物の購入時に意識している理由（複数回答）

単位：％

区 分	回答者数	計	安全と思うから	品質が良いと思うから	おいしいと思うから	価格が安いと思うから	その他	無回答	区分
生 鮮 魚 類 A	1 255	100.0	87.1	82.5	72.5	11.6	16.3	0.4	A
生 鮮 貝 類 B	1 294	100.0	88.8	79.8	66.3	7.1	14.5	0.4	B
生 鮮 海 藻 類 C	1 270	100.0	85.3	80.2	67.1	7.6	14.0	0.6	C
加 工 魚 介 類 D	1 255	100.0	87.4	81.5	68.2	7.8	10.9	0.6	D
加 工 海 藻 類 E	1 219	100.0	85.8	81.0	63.7	6.6	9.5	1.0	E

注：「1 (1) 生鮮及び加工水産物の購入時の意識」で「地場(もしくは近県)産を購入しようとして意識している」「国内地域ブランド品を購入しようとして意識している」及び「地域等は意識していないが、国産品を購入しようとして意識している」のいずれかを選択した者に対する割合である。

2 水産物の安全性の維持に必要な取組への意識・意向（複数回答）

単位：％

区分	回答者数	計	水質等、 漁場環境 の保全	漁業者に よる適切 な生産、 漁獲物の 衛生管理	加工・流 通業者に よる適切 な製造・ 衛生管理	行政によ る産地表 示等の適 切な指導	その他	無回答	区分
計	1 394	100.0	93.2	84.3	91.9	77.2	16.6	0.1	1
性別									
男	344	100.0	89.5	82.3	91.0	73.3	13.1	0.3	2
女	1 050	100.0	94.4	85.0	92.2	78.5	17.7	-	3
年齢階層別									
20～29歳	70	100.0	84.3	77.1	91.4	72.9	20.0	-	4
30～39歳	316	100.0	89.2	79.4	93.0	71.2	13.0	-	5
40～49歳	428	100.0	94.9	83.4	91.4	75.2	13.8	-	6
50～64歳	456	100.0	95.8	88.4	91.7	80.7	21.9	-	7
65歳以上	124	100.0	92.7	88.7	91.9	88.7	13.7	0.8	8
性別・年齢階層別									
男性 20～29歳	22	100.0	77.3	72.7	81.8	63.6	18.2	-	9
男性 30～39歳	60	100.0	81.7	68.3	90.0	66.7	11.7	-	10
男性 40～49歳	94	100.0	92.6	80.9	93.6	71.3	9.6	-	11
男性 50～64歳	108	100.0	94.4	88.0	90.7	71.3	18.5	-	12
男性 65歳以上	60	100.0	88.3	91.7	91.7	90.0	8.3	1.7	13
女性 20～29歳	48	100.0	87.5	79.2	95.8	77.1	20.8	-	14
女性 30～39歳	256	100.0	91.0	82.0	93.8	72.3	13.3	-	15
女性 40～49歳	334	100.0	95.5	84.1	90.7	76.3	15.0	-	16
女性 50～64歳	348	100.0	96.3	88.5	92.0	83.6	23.0	-	17
女性 65歳以上	64	100.0	96.9	85.9	92.2	87.5	18.8	-	18
農政局等別									
北海道	45	100.0	91.1	86.7	91.1	68.9	8.9	-	19
東北	151	100.0	94.7	87.4	89.4	72.8	17.9	0.7	20
関東	371	100.0	93.5	84.4	94.1	82.7	18.3	-	21
北陸	95	100.0	92.6	73.7	84.2	68.4	17.9	-	22
東海	103	100.0	96.1	87.4	90.3	78.6	19.4	-	23
近畿	202	100.0	92.6	87.1	92.1	75.2	15.3	-	24
中国	220	100.0	93.2	82.7	94.5	77.3	12.7	-	25
九州	187	100.0	90.9	83.4	91.4	77.0	16.6	-	26
沖縄	20	100.0	95.0	85.0	90.0	80.0	25.0	-	27

3 今後の水産物の消費に関する意識・意向

単位：%

区 分	回答者数	計	今までより増やしたいと思う	今までより減らしたいと思う	今までと変わらないと思う	無回答	区分	
計	1	1 394	100.0	52.6	1.1	46.3	-	1
人								
性 別								
男 性	2	344	100.0	51.2	2.6	46.2	-	2
女 性	3	1 050	100.0	53.0	0.6	46.4	-	3
年 齢 階 層 別								
20 ～ 29 歳	4	70	100.0	50.0	1.4	48.6	-	4
30 ～ 39 歳	5	316	100.0	46.8	0.9	52.2	-	5
40 ～ 49 歳	6	428	100.0	53.5	1.4	45.1	-	6
50 ～ 64 歳	7	456	100.0	54.4	1.1	44.5	-	7
65 歳 以 上	8	124	100.0	58.9	-	41.1	-	8
性 別 ・ 年 齢 階 層 別								
男 性 20 ～ 29 歳	9	22	100.0	59.1	-	40.9	-	9
男 性 30 ～ 39 歳	10	60	100.0	43.3	3.3	53.3	-	10
男 性 40 ～ 49 歳	11	94	100.0	50.0	4.3	45.7	-	11
男 性 50 ～ 64 歳	12	108	100.0	52.8	2.8	44.4	-	12
男 性 65 歳 以 上	13	60	100.0	55.0	-	45.0	-	13
女 性 20 ～ 29 歳	14	48	100.0	45.8	2.1	52.1	-	14
女 性 30 ～ 39 歳	15	256	100.0	47.7	0.4	52.0	-	15
女 性 40 ～ 49 歳	16	334	100.0	54.5	0.6	44.9	-	16
女 性 50 ～ 64 歳	17	348	100.0	54.9	0.6	44.5	-	17
女 性 65 歳 以 上	18	64	100.0	62.5	-	37.5	-	18
農 政 局 等 別								
北 海 道	19	45	100.0	35.6	2.2	62.2	-	19
東 北 道	20	151	100.0	47.7	0.7	51.7	-	20
関 東 道	21	371	100.0	53.6	0.5	45.8	-	21
北 陸 道	22	95	100.0	49.5	2.1	48.4	-	22
東 海 道	23	103	100.0	47.6	1.0	51.5	-	23
近 畿 道	24	202	100.0	56.4	1.0	42.6	-	24
中 国 道	25	220	100.0	51.4	1.8	46.8	-	25
九 州 道	26	187	100.0	60.4	1.1	38.5	-	26
沖 縄 県	27	20	100.0	50.0	-	50.0	-	27

4 水産物の消費増加に期待する取組への意識・意向（複数回答）

単位：%

区分	回答者数	計	直売所の設置等、水産物の地産地消を進める取組	産地表示を一層充実する取組	魚の健康機能等、食育を推進する取組	切り身等、調理のしやすさに配慮した商品開発への取組	総菜等、中食に対応した商品開発への取組	その他	無回答	区分	
計	1	1 394	100.0	64.4	60.8	73.2	50.9	29.3	21.8	0.4	1
性別											
男	2	344	100.0	62.5	61.6	72.1	51.7	30.5	15.1	0.9	2
女	3	1 050	100.0	65.0	60.6	73.6	50.7	28.9	24.0	0.3	3
年齢階層別											
20～29歳	4	70	100.0	57.1	50.0	64.3	58.6	45.7	20.0	-	4
30～39歳	5	316	100.0	61.7	44.6	74.7	50.0	26.6	17.1	0.3	5
40～49歳	6	428	100.0	61.4	57.7	69.9	50.9	24.5	21.7	0.5	6
50～64歳	7	456	100.0	67.5	71.5	75.7	48.2	31.4	26.1	0.4	7
65歳以上	8	124	100.0	74.2	79.8	77.4	58.9	35.5	19.4	0.8	8
性別・年齢階層別											
男性 20～29歳	9	22	100.0	54.5	27.3	50.0	63.6	50.0	9.1	-	9
男性 30～39歳	10	60	100.0	55.0	41.7	80.0	53.3	36.7	8.3	-	10
男性 40～49歳	11	94	100.0	59.6	63.8	61.7	45.7	22.3	16.0	2.1	11
男性 50～64歳	12	108	100.0	65.7	69.4	81.5	48.1	28.7	20.4	-	12
男性 65歳以上	13	60	100.0	71.7	76.7	71.7	61.7	33.3	13.3	1.7	13
女性 20～29歳	14	48	100.0	58.3	60.4	70.8	56.3	43.8	25.0	-	14
女性 30～39歳	15	256	100.0	63.3	45.3	73.4	49.2	24.2	19.1	0.4	15
女性 40～49歳	16	334	100.0	62.0	56.0	72.2	52.4	25.1	23.4	-	16
女性 50～64歳	17	348	100.0	68.1	72.1	73.9	48.3	32.2	27.9	0.6	17
女性 65歳以上	18	64	100.0	76.6	82.8	82.8	56.3	37.5	25.0	-	18
農政局等別											
北海道	19	45	100.0	53.3	55.6	66.7	51.1	24.4	17.8	-	19
東北	20	151	100.0	67.5	66.9	74.8	53.0	34.4	23.8	0.7	20
関東	21	371	100.0	60.4	63.9	74.9	49.3	29.4	27.2	-	21
北陸	22	95	100.0	65.3	62.1	73.7	46.3	32.6	20.0	-	22
東海	23	103	100.0	59.2	59.2	74.8	52.4	33.0	21.4	-	23
近畿	24	202	100.0	56.9	60.9	71.3	48.5	25.7	19.3	-	24
中国	25	220	100.0	71.4	56.8	70.0	54.5	23.6	17.3	1.8	25
九州	26	187	100.0	73.8	58.8	74.9	54.0	32.6	19.3	0.5	26
沖縄	27	20	100.0	75.0	35.0	75.0	35.0	30.0	25.0	-	27

【利用上の注意】

1 調査の内容

本調査は、国内水産業の競争力強化を推進するに当たり、消費者が国産水産物に対して、どのような意識・意向を持たれているかを把握したものである。

2 調査対象

生産者（農業者、林業者、漁業者）、流通加工業者及び消費者の意見・意向等を迅速に把握して農林水産行政に反映させることなどを目的とした「農林水産情報交流ネットワーク事業」において、全国に配置している情報交流モニター等の中から、消費情報提供協力者を対象とした。

3 実施時期

平成18年7月下旬～8月中旬

4 調査方法

地方農政局、地方農政事務所、北海道農政事務所及び沖縄総合事務局からの郵送調査により行った。

5 調査票の回収率等

	配付者数 (人)	回答者数 (人)	回収率 (%)
消費情報提供協力者	1,500	1,394	92.9

6 用語の説明等

(1) 地域ブランドとは、「地域名＋品名」からなる商標をいう。

(2) 農政局等の区分は次のとおりである。

北海道：北海道

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡

北陸：新潟、富山、石川、福井

東海：岐阜、愛知、三重

近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国四国：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

沖縄：沖縄

(3) 統計表の各回答率は、各設問（各区分）の有効回答者数計を100.0とする割合である。

なお、標本誤差は回答者数と回答率によって異なっており、回答者数別の標本誤差の範囲（95%は信頼できる誤差の範囲）は、おおむね次のとおりであり、利用に当たっては注意願いたい。

標本誤差の範囲とは、例えば、ある選択肢の回答率が50%の場合、1,400戸を取りまとめた結果では、同調査（1,400戸を取りまとめ）を100回行ううちの95回は、47.4%～52.6%（50%の上下2.6%）の範囲の中に収まるというものである。

回答率 回答者数	10% (又は90%)	20% (又は80%)	30% (又は70%)	40% (又は60%)	50%
1,400	± 1.6	± 2.1	± 2.4	± 2.6	± 2.6
1,300	± 1.6	± 2.2	± 2.5	± 2.7	± 2.7
1,200	± 1.7	± 2.3	± 2.6	± 2.8	± 2.8
1,100	± 1.8	± 2.4	± 2.7	± 2.9	± 3.0
500	± 2.6	± 3.5	± 4.0	± 4.3	± 4.4
400	± 2.9	± 3.9	± 4.5	± 4.8	± 4.9
300	± 3.4	± 4.5	± 5.2	± 5.5	± 5.7
200	± 4.2	± 5.5	± 6.4	± 6.8	± 6.9
100	± 5.9	± 7.8	± 9.0	± 9.6	± 9.8
90	± 6.2	± 8.3	± 9.5	±10.1	±10.3
70	± 7.0	± 9.4	±10.7	±11.5	±11.7
60	± 7.6	±10.1	±11.6	±12.4	±12.7
50	± 8.3	±11.1	±12.7	±13.6	±13.9
20	±13.1	±17.5	±20.1	±21.5	±21.9

注：標本誤差の範囲は、 $\pm 1.96 \times \sqrt{\frac{\text{回答率} \times (1 - \text{回答率})}{\text{回答者数}}}$ により求めた。

- (4) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない。
- (5) 統計表に使用した記号「-」は、事実のないことを表す。
- (6) 統計表の数値の中には、回答者数の少ないものもあるので、利用に当たっては、十分注意されたい。

連絡先

農林水産省 大臣官房 情報課 業務第2班
 電話(代表) 03(3502)8111 内線2577
 (直通) 03(3502)8047

この資料は、農林水産省ホームページ【<http://www.maff.go.jp/>】の「施策の動き・情報」≫「農林水産業の意識・意向調査」で御覧いただけます。